

人・もの・夢に出会える創造マガジン

うちこちのこぶち



CONTENTS

21世紀アングル/パワー・オブ・メッセージ

- 堀場製作所会長 堀場雅夫 ————— 2.3
- 企業のやる気を応援します！プラザ事業紹介 ————— 4.5
- オンリーワンをめざせ！レポート ————— 6.7
- 滋賀県元気企業紹介 ————— 8
- skki企業優良製品紹介/スマイル ————— 9
- セミナー&イベント情報 ————— 10
- 新着ビデオ・本紹介 ————— 11
- skki登録・わが社のホームページ自慢 ————— 12

2004

Vol. 30

発行/(財)滋賀県産業支援プラザ

9合目から 頂上へ行くには 自己実現のための 努力が必要です。

堀場製作所会長 ● 堀場雅夫

ベンチャー企業の草分け的存在である堀場製作所会長の堀場雅夫氏。著書である「仕事ができる人できない人」は100万部を超えるベストセラーになるほど、企業人に強烈なメッセージを発信しています。当年とって79歳とは思えない若々しい会長から出る独創的な言葉は、まさに目からウロコ。2004年、新年に向けた企業人へのメッセージです。

世の中に対して自分の自己実現、自己充実をしたいという精神的なハングリーがベンチャー成功の秘訣。

私も今でいう「学生ベンチャー」と言われていますが、今とは状況が全く違いますね。私が事業を起こした昭和20年当時は、日本は戦争に負けて何もなかった時代です。みんな欲しいものばかりで、余っているものは水か空気しかなかった。だから、何でも、まともなモノさえ作れば、絶対売れたんです。ただ、まともなモノを作るためには、材料がないとか、作ろうと思ったら停電するとか。そういう要因でなかなかモノが作れなかった。今は少々の物を作っても何でもあるので売れない。そこへ、企業がバブルで儲かった後、すべての分野に進出し尽くした。近ごろは景気が悪いので、小規模のビジネスまで大企業が入ってきて、なかなか、進出していく分野がありません。入っていく隙間がないんですよ。だから、今のベンチャーは大変だと思いますね。

世界全体からみて今の日本人の生活水準は上から10%ぐらいのところ、に全て位置しているわけです。登山でいうともともと9合目まで上がっているわけですね。そこでじっとしていたっていいんです。ホームレスしてたって構わない。でもそれではあまりに悲しい。そこで、9合目

●プロフィール

1924年、京都市生まれ。京都大学理学部在学中に、堀場無線研究所を創業。食品工場などで必需品のpHメーターの開発に成功し、社長に就任。1961年、医学博士号を取得。社員にも博士号取得を推奨し、全社一丸となって研究開発型のベンチャーのモデルともいえる企業を作り上げた。1978年に会長就任。

堀場製作所

1971年、大阪、京都の証券取引所に上場。
1982年、東証一部上場を果たし、以後、
分析機器のトップメーカーとして常に技術
開発で業界をリード。自動車排ガス計測器
は世界市場の8割を占める。年間売上高
800億円(連結ベース)を超える。従業員は
単体で約1000人、グループとしては3700
人を超える。



から頂上へ行くには自己実現のための努力が必要になってくるんです。「私はこの程度で人生を送るにはあまりにも情けない」という、世の中に対して自分の自己実現、自己充実をしたいという精神的なハングリーです。でも、それがあかないかで頂上に行けるかどうかは決まります。生まれてみたら日本人だったんでしょう。もしあなたが今アフガンに生まれ、イラクに生まれていたらどうしますか。日本人に生まれただけでもう、宝くじで3億円当たったみたいなものじゃないですか。それだったら、日本人は何かすることがあるんじゃないですか。ということだと思っんです。

自分の能力を100%発揮できるような環境と言え、ベンチャービジネスが一番というのがアメリカです。

また、ベンチャービジネスに対する意識も変えないといけません。アメリカでは一番優秀な人が事業を起こすんです。能力のある者はそれに報いられるという社会なんです。大企業の中の一社員で使われるよりも、自分に能力があるなら、社長になってお金を集めてきて、自分の能力一杯に仕事をしたら収入も多く得ることができる。さらに、ベンチャーの経営者として尊敬されるわけです。自分の能力を100%発揮できるような環境といたら、ベンチャービジネスが一番なんです。その次に優秀な人は、ベンチャラスな中小企業に入ります。そこで能力を認められたら、大学を出て2年目ぐらいで副社長になっている人もいます。そして、経営の勉強をして、自分で資金を集めてベンチャービジネスを始める。これが第二の道です。第三に、それもしんどいという人は、そこそこの会社のサラリーマン。それも厳しいという人が官僚になる。日本とはパターンが逆なんです。こうしたアメリカのような意識になれば、日本の産業も活性化されるでしょうが、まだまだ今のような日本の教育では難しいですね。

アウトソーシングは能力の高いところに出すことで、自分のところで作る以上のモノができる。

成功している起業家に共通した点は、「仕事好き」で「世界的な視野」を持ち、「経営のスピード」があり、「徹底したアウトソーシング(外部業務委託)」があげられます。

この中でアウトソーシングにおいては、多くの会社が根本的に考え方を変えないといけません。簡単なことは安い金額で外注に出した方がよいという発想ではなく、自社が不得意なものを能力の高いところに外注することなんです。例えばコンピュータ関係でも難しいSEの仕事とかで社内では処理できなければ、社内に遊んでいる人がいても、優秀な人材を外から呼んでこないといけません。そういうアウトソーシングをしないとイケないんですよ。今までの下請けとっていたのは、自分より能力の低いところに出していたわけですよ。それをやっている限りは、自分の能力を超えることは絶対にできません。外注は能力の高いところに出すことで、自分のところで作る以上のモノができるわけです。

人間というのはおもしろおかしくなかったら駄目です。仕事も同じ、面白くなくて何のために生きているんですか。

堀場製作所の社是は「おもしろおかしく」なんです。人間というのはおもしろおかしくなかったら駄目なんです。仕事においても同じです。仕事をする年数はだいたい40年間でしょう。人生80年と仮定して、半分です。1日のうちのほとんどは会社に行っているんですよ。人生の一番大事な年代で、一日の一番大事な時間をすべて仕事に費やしているわけでしょう。それが面白くなくて何のために生きているんだということになるんです。一般的に「働くということは苦、勉強することも苦」ということが多くの人にインプットされているんです。私が仕事をして帰ってきたら、受付の社員が「ご苦労様でした」「お疲れさまでした」と挨拶をしてくれますが、私は「苦労してないって」「疲れてないって」と言いたいです。本人は好きで仕事をしてるんですからね。

企業支援で非常にはっきりしているのは、仕事好きの人、やる気がある人を応援するということです。やる気がない人を支援しても仕方がない。やる気がある人は死に物狂いですよ。ベンチャーをやっている人は、街を歩いている間も携帯電話で営業をしています。のんびり待っていて仕事がくれば最高ですが……。人間は最後に炭酸ガスと水蒸気と炭酸カルシウムになって終わるんです。何もしないままだったら、あまりにもあなたの人生かわいそうじゃないですか。滋賀で頑張る企業人の皆さんも、残り10%の自己実現のために、現在の9合目から頂上に向かって努力してください。

滋賀ビジネスパートナー2003が開催されました。

滋賀の新時代にふさわしい産業創造を目指し、産学官金の連携のもとに、ユニークで競争力のある新しい技術・商品をもつ県内中小企業各社の販路拡大・事業提携・資金調達を支援する場として、11月19日、大津プリンスホテル[コンベンションホール淡海]で「滋賀ビジネスパートナー2003」を開催しました。

「産・学・官・金」の連携強化で ビジネスパートナーづくりにチャレンジ！



開会式で挨拶する産業支援プラザの高橋理事長



新商品・新サービスの紹介が行われた
プレゼンテーション会場

「新たな成長」への出会いの場として、県内外から多くの方が集まり、会場は熱気にあふれました。早速、商談成立となったところもあり、日頃新商品等の発表の場の少ないベンチャー企業にとってPRの絶好の機会となりました。

今年度のビジネスパートナー2003のコンセプトは、「出展者にとっても来場者にとっても新たな成長・発展の機会が得られる場」として、特に「産・学・官・金（産業、大学、行政そして金融機関）」の連携強化というキーワードのもと、ビジネスパートナーシップの活性化を目指したものでしたが、昨年の来場者を上回る参加があり、県内で元気ある企業活動を展開しているベンチャー企業への期待の高まりを感じるものでした。

開会セレモニーでは、産業支援プラザ理事長高橋宗治郎の開会挨拶に引き続いて、陣山近畿経済局産業企画部長、安藤滋賀県副知事、社団法人滋賀経済産業協会小林会長、滋賀県商工会連合会川瀬会長、出展ベンチャー企業を代表して有限会社バイオサムの西尾社長、そして産業支援プラザの高橋理事長によるテープカットが行われ、高らかに開幕。

引き続き、講演会（三方よしAKINDOセミナー）、パネルディスカッション（滋賀SOHOビジネスフォーラム）、しが広域商談会が各会場に分かれ開催され、また、プレゼンテーション会場では、ベンチャー企業10社が新商品、新サービスを紹介し、販路拡大、事業提携、資金調達など、ビジネスパートナーづくりにチャレンジしました。

「新たな成長」への出会いの場として、県内外から多くの方が集まり、会場は熱気にあふれました。早速、商談成立となったところもあり、日頃新商品等の発表の場の少ないベンチャー企業にとってPRの絶好の機会となりました。

今年度のビジネスパートナー2003のコンセプトは、「出展者にとっても来場者にとっても新たな成長・発展の機会が

展示会場には1,300名を超える人々が溢れ通る場もないほど、商談や名刺交換等が熱心に行われました。展示はベンチャー企業40社の他、県内9大学の産学官連携展示、金融機関による支援展示が13機関、そして地域中小企業支援センター、雇用・能力開発機構、ジェトロ大阪等の9の支援機関がそれぞれ展示



熱心な商談や名刺交換が行われた展示会場



展示説明にも熱がこもる

を行いました。また、今回初めてSOHOコーナー、広域商談会コーナーを設け、SOHO（スモールオフィスホームオフィス）事業者といわれるインターネット関連や情報サービス関連の小規模事業者が19社、ものづくりにかかる高度な加工技術を提供する企業のほか、さらに独自の製品開発力を備えた企業20社の展示が行われました。

三方よしAKINDOセミナー

「いまの経営のキーワードを考える」
—近江商人の“世間よし”の理念と
現代の経営のキーワードを考える—

講師：積水ハウス株式会社／代表取締役会長 奥井 功氏

企業の社会的責任を主題とするトップセミナーとして、「三方よしAKINDOセミナー」を「滋賀ビジネスパートナー2003」と同時開催いたしました。

今回は関西経営者協会会長などを務め関西経済界をリードされている積水ハウス株式会社代表取締役会長の奥井功氏を講



師に迎え「いまの経営のキーワードを考える」をテーマに近江商人の“世間よし”の理念と現代の経営のキーワードについて講演いただきました。奥井氏は「変化」「スピード」「安心」をキーワードとして現代の企業経営に求められている問題に対し、自分が納得して判断をする信念を持つことが大切であることや、人権、環境、安全など企業経営にとっての“世間よし”の考え方について豊かな経験談を交えて語っていただきました。長年の人生経験と経営者としての実践に基づく奥井氏の講演に約500人の聴衆で会場は埋め尽くされ、経営者をはじめとする企業人の多くの方から「勇気を与えられた」「非常に勉強になった」などの感想が寄せられました。近江商人の代表的理念である「三方よし」（売り手よし、買い手よし、世間よし）は現代にも通じる普遍性を持ち、大きく変革する21世紀の経済と企業活動を支える重要なキーワードとして現代に活かし、実践することが企業の存続に導き持続可能な社会の実現につながるのではないのでしょうか。



三方よしAKINDOセミナーで講演する
積水ハウス(株)奥井会長
約500人の聴衆で埋め尽くされた会場

滋賀SOHOビジネスフォーラム

SOHOという言葉もすっかり根づいた現在、実際SOHOとしてやっていくためには、伸びていくためには何が必要なのか。ゲストに小学校から大学まで全国約5万校の卒業生が集うウェブ同窓会「この指とまれ！」を運営する株式会社ゆびとま小久保徳子社長を迎えて、「地方で起業をするということ」と題する記念講演を開催。現役SOHO、脱SOHOなどの起業家による様々な立場からSOHO的あきないの極意について、ディスカッションが行われました。コーディネーター・ドリームゲート吉田雅紀氏のテンポの良い話し振りが、会場に詰め掛けた120人の聴衆を大いに沸かせていました。



(株)ゆびとま/小久保社長による記念講演
滋賀SOHOビジネスフォーラム
パネルディスカッションの様子

産業支援プラザが協定 独・環境機能センターと！



環境相互協定調印式の様子

滋賀県産業支援プラザとドイツ・バイエルン州の(社)アウクスブルグ・シュヴァーベン環境機能センター(KUMAS)は滋賀県とバイエルン州の後援の下、去る11月27日に環境相互協定に調印しました。その協定の内容は、環境テクノロジー分野のノウハウ交換や技術者の交流、双方で開催される環境メッセへの出展協力、滋賀県およびバイエルン州の産学官の各機関、企業間のネットワークの構築、更には環境行政分野などの様々な情報交換により、互いの地域の産業振興を図るものです。



草津SOHOビジネスオフィス 第3次入居者募集！

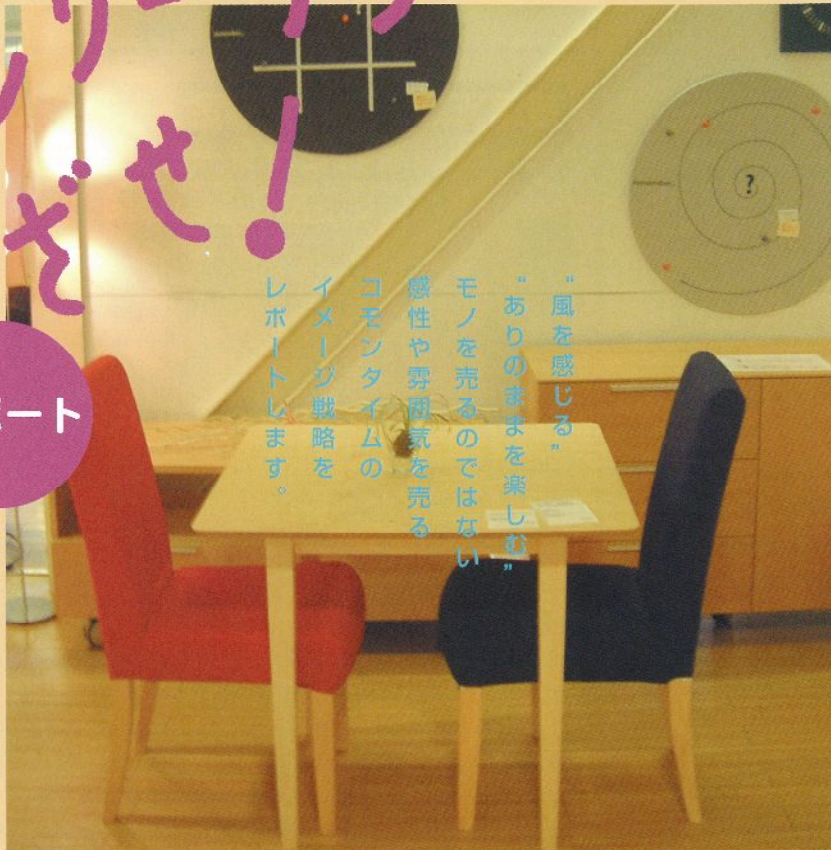
滋賀県がJR草津駅前に設置している「草津SOHOビジネスオフィス」では、今回、オフィススペース5区画分の入居者を募集しています。
(提出締切：平成16年1月8日)

草津SOHOビジネスオフィスは、賃貸オフィススペース、高速通信回線、活動支援設備で構成され、滋賀県がITを中核としたビジネスモデルによる事業をされている個人や小規模の企業(SOHO事業者)の活動拠点として整備したものです。入居を希望される方や企業は、使用資格の承認を受ける必要がありますので、あらかじめ下記の問い合わせ先まで、お問い合わせ下さい。

- 問い合わせ先：滋賀県商工観光労働部商工観光政策課
企画情報・金融担当 中後(なかご) TEL：077-528-3712
- 滋賀県ホームページ[草津SOHOビジネスオフィスの入居者募集]
http://www.pref.shiga.jp/f/shokokanko/soho/k_boshu.html
- SOHOビジネスオフィスホームページ
<http://www.sohok.bics-shiga.jp/>

オンラインワンも めざせ!

レポート



“風を感じる”
“ありのままを楽しむ”
モノを売るのではない
感性や雰囲気を感じる
コモントタイムの
イメージ戦略を
レポートします。

インテリアショップ コモントタイム

運命的な 巡り合わせから誕生、 湖畔のインテリアショップ

谷オーナーと家具の出会い、昭和42年に夫が始めた老舗店。それから20数年後、湖畔のリゾートを思わせる道をドライブ中、「雰囲気がいい」



オーナーの谷喜代子さん。経営者、主婦そして一人の人間として“9足のわらじを履く”人生を謳歌。

オンラインワン

東京発の生活雑貨たち。

日常使いの道具や小物を選ぶとき、贈り物を選ぶのと同じくらいドキドキして楽しいもの。雑貨フロアには、テレビや雑誌で紹介される前に旬の雑貨がいち早くお目見え。担当スタッフは展示会に赴き、感性にフィットする“オンラインワン”を選びすぐる。「あっ、かわい〜い」「あっ、うれしい〜」そんな「あっ!」という声が店内あちこちから囁かれるのが、至上の喜びだそう。商品のセレクトからディスプレイ・販売まで一人ひとりの個性と愛情が注がれる。心から可愛がることによって、「モノが動く＝売れる」という。いつも、次なるオンラインワンを夢見て、“ピピッ”とアンテナを立てている。



④ わ」と交わした言葉が縁で、土地を購入したものの、なかなかピンと来るインテリア商品に巡り合えない中、おしゃれなデザイン性で若い世代に支持層を持つアクタス商品とその営業マンに一目惚れしてインテリアショップの開店を即決しました。そして7年前、県下初の“アクタス取扱店”をオープン。店名の「コモント

タイム」は、自分磨きで受講した成安造形大学のハーブ講座で、運命的に出会ったネーミングだそう。ハーブが持つイメージ“癒す”“ほっこりする”店舗づくりがコンセプトになっています。「ヨーロッパのゆったりと流れる空気が好き。せかせかとしな生活そのものを楽しむライフスタイルを発信できれば」と何度も

訪欧するという谷さん。フロアスタッフは全員女性。ヨーロッパスタイルの生活観と女性のフレンドリーさで、消費者の感性に新しい風を送ります。

本物の家具との出会いが、 人生を大きく変えることも。

ターゲットは結婚を控えた家族やカ

ップル。最近では「家具は親が選ぶのではない、自分が主役という意識が強い」といいます。気持ち良く暮らすために、二人の生活に何が必要かを考え、一つずつ好きなモノを探されるとか。ヨーロッパやアジア、オリエンタルテイストなど時に冒険したり、定番と組み合わせたりニーズは様々です。

インテリアコーディネーターの資格を持つスタッフが、何気ない会話から、暮らしへのこだわりを導き出します。「新しい人生を始めるとき、一つの家具との運命的な出会いが、その後の人生を大きく変えることも。家具選びは一生に一度の大きな買い物です。本物の家具は、生涯付き合っても飽きることがない」がコモンタイム流家具論。その人にとって一期一会の家具と出会えるようにサポー

トします。数年後、子ども用の家具を選びに再来店される方も多いとか。「女性の感性で店づくりをしているので、客も口コミで広がることが多

いんです」と谷さん。商売を前面に出さない、女性ならではの生活そのものを楽しむ視線が、コモンタイムの原動力になっているようです。



左/ガーデニンググッズがお出迎え。右上/フロアスタッフは全員女性。右下/琵琶湖畔、近江大橋取り付け道踏切。

うちのこだわり

ディスプレイに吹込む、本物の生活観

自分にとって心地いい、好きなデザインや色に囲まれているのは、シンプルですがとても幸せな事。家具フロアではファブリックや時計、植物や絵等色んな素材のコラボレーションで生活空間を提案。“自然のリズムに触れる”“心がひらかれる”ディスプレイを心がける。スタッフ全員が“新しもの好き”を自負。今、一番流行っているものを「舌で」「目で」「肌で」感じる努力が日課です。仕事の醍醐味は、もちろん次にやって来る波を読むこと。「たまにハズれることも(笑)」。でも、失敗を恐れず冒険しています。自分が楽しい、面白いと思えるお店じゃないと、お客さんも満足しないでしょ(笑)。



コモンタイム

- 草津市新浜町394
 - TEL.077-561-6401
 - 10時～19時30分
 - 第2・3水曜休(不定休)
 - <http://www.common-thyme.com>
 - 交通アクセス
- お車での来店が便利。近江大橋東詰料金所から100m草津寄り、取付道路南側に面する三角屋根が目印。大津方面からの場合、中央分離帯で右折ができないので、手前信号で右折し一閃してね!



●姉妹店●



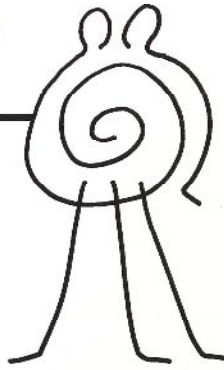
ミスバリ

- 大津市馬場2-11-10 ●TEL.077-526-4333 ●10時30分～20時(平日～20時30分) ●第3日曜休
- JR膳所駅前の化粧品&エステ店。スキンケアやメイクアップに関するどんなお悩みも、安心の技術と知識で解決。今、人気の中国若石健康法による足ツボマッサージ(2800円～)でリフレッシュしませんか?

インテリア館広島

- 大津市長等2-8-35 ●TEL.077-523-1181 ●10時～19時 ●水曜休
- 大津市長等商店街の“木の温もりのある”こだわり家具専門店。和テイストの家具からオーダーメイド家具まで。カーテン等インテリア用品を取扱うほか、家や店舗のリフォーム・設計施工の相談も受付中。

うちでのこぶち 連載 企画
滋賀県元気企業紹介



11月19日に開催された「滋賀ビジネスパートナー2003」にはユニークで競争力のある新技術・新商品を持つ企業が多数集まった。その中から、独自の技術で新境地を目指す3つの会社をピックアップして紹介しよう。

●詳しい内容をプラザホームページで紹介しています。
URL/<http://www.shigaplaza.or.jp/uchide/main.htm>



活発な商談が行われた「滋賀ビジネスパートナー2003」会場

鹿城律人さん
カシロ産業株式会社
代表取締役社長



旺盛なベンチャー精神“カシロイズム”
産官で天然原料セリシンの商品化に成功。

- 本社/伊香郡高月町深川194-1
- TEL/0749-85-3085
- 事業内容/配管資材・土木資材・住宅設備機器等の卸販売。プラスチック製品二次加工の受託。天然シルクタンパク質セリシンの製造販売。
- <http://www.kashiro.co.jp>

昭和29年の創業以来、設備管材卸販売を柱に地域NO.1企業を目指す一方、「カシロイズム」という旺盛なベンチャー精神と行動力で、新分野ビジネスに挑戦。「昔からお蚕さんに従事する人の手は、冬でも荒れにくくきれいな白い手」と言われる、長浜の地場産業である浜縮緬から廃棄される「セリシン」に注目。滋賀県東北部工業技術センターとの3年間の共同研究の末、夢の高分子天然シルクタンパク質を高分子量（40万分子量以上）で回収することに成功、「Hiセリシン」の名で販売を開始。保湿や抗酸化作用、美白効果など人体に有用な機能が解明されつつあり、廃棄物の再利用という環境にもやさしい商品性で、化粧品業界をはじめ、食品・医療等様々な分野から脚光を浴びている。



夢の天然タンパク質「Hiセリシン」を商品化

宗村庚修さん
株式会社ケー・エー・シー
代表取締役社長・理学博士



今成長著しいバイオ関連事業をサポートし、「抗酸化食品」のための新技術を開発。

- 本社/京都市中京区西ノ京西月光町40
- TEL/075-801-9311
- 業務内容/動物実験関係の総合受託業務
- URL/<http://www.kaacct.co.jp>

今、老化を促進する物質・活性酸素を消去する抗酸化成分を持つ「抗酸化食品」が注目されている。しかしどの食品がどの程度の抗酸化作用を持つのかを見極めるのは、困難とされてきた。そこに切り込んだのがケー・エー・シーである。バイオ研究支援事業を展開しているケー・エー・シーは実験動物の飼育管理業務、実験・研究スタッフの派遣業務のほか、動物実験や組織・細胞を用いた受託業務に力を入れている。平成7年には滋賀県栗東町（現・栗東市）に生物科学センターを開設。そして今年、抗酸化食品がどの程度の作用を持つのかをテストする、マウスを用いた薬理試験法の開発に成功した。保健機能食品の分野で、今後商品開発に威力を発揮する技術として多に注目を集めている。



マウスからブタまでの飼育・繁殖・動物実験を受託している。

廣瀬一輝さん
廣瀬バルブ工業株式会社
代表取締役社長



モータ機能とポンプ機能を融合させた世界初の機構を開発。

- 本社/彦根市安清町2-34
- TEL/0749-23-2020
- 業務内容/油圧用分類の製造販売
- URL/<http://www.hirose-valves.co.jp>

20社前後のブランドメーカーと40社近くの関連企業がひしめくバルブ産業のまち・彦根で大正12年に創業。昭和37年には油圧式ストップバルブの開発に成功し、以来シンプルなストップバルブから複雑な構造を持つ油圧制御バルブまで幅広く手がける油圧用バルブの専門メーカーとして成長してきた。最新の開発商品は回転型昇圧器「RINT（リント）」。「モータ機能とポンプ機能を融合させる新発想から生まれた世界初の機構を持ち、国内と米国の特許を取得、現在欧州でも特許を申請している。「バルブはあくまで縁の下の力持ち」という廣瀬社長。「RINT」はすでにコンクリート破砕機に標準採用されており、今後、新製品の心臓部を担う技術として期待されている。



日本と米国で特許を取得した、回転型昇圧器。

skkiに加盟している企業の優れた商品をご紹介します。

●各企業の詳細な情報はskkiに掲載されています。企業名で検索してください。

伝統のつづれ織り「宗八」

つづれ織りは「爪織り」とも言われ、根気と高度な技術・熟練を要する手作りの織物です。特殊な技術なため、NHKや関西TV・読売TVでも再三取り上げていただき、つづれ織り「宗八」の名で評価をいただいております。伝統の技術の粋である帯・打敷も各種ございますが、帛紗(ふくさ)・懐紙入れ・名刺入れ・テーブルセンターなどの小物も多数ございます。琵琶湖をイメージした商品もあり、記念品等としてお使いいただき、ご好評いただいております。



株式会社清原織物
TEL.077-583-5711

こだわりの天然醸造酢

当社は近江高島で江戸時代から酢醸造業を営んでいます。近年、普通の酢は醸造用アルコールを原料として、酢酸菌を植え付け発酵させるのですが、当社の「淡海昔」(おうみせき)は、贅沢にお酒を原料にして静置発酵で造っています。まろやかでこくのある味は多くの食通に愛されています。今回、新しく本物志向の甘くないポン酢を新発売致しました。「がんこおやじのポン酢」は、徳島県のゆず果汁をたっぷり使い、超特選醤油で味付けしています。非常に風味



が良いと好評です。是非ご賞味下さい。

淡海酢有限公司
TEL.0740-36-0018
e-mail: tankaisu@mx.biwa.ne.jp

とけるように 軽いチーズケーキ

「作り手の気持ちがお客さんに伝わるようなお店にしたい」と店をオープンして16年、手間を惜しまず基本を大切にしたお菓子作りをしています。ショーケースに並ぶケーキは常時約30種、焼き菓子は約20種ございますが、中でもオープン当時から変わらぬ人気は、当店の顔!シェフの自信作「チーズケーキ」です!!オランダ産のゴダーチーズを使用し、絶妙の火加減で焼き上げたスフレタイプのチーズケーキは、口の中に入ると舌の上ですーっと溶けるような軽



さ...、一口食べていただいたら判ります。他にも、それぞれ違った味・食感のチーズケーキが4種類あります。

ザルツブルグ洋菓子店
TEL.077-565-9711

オリジナルジーンズならおまかせ

ジーンズをリメイクしてスカートを作ったりしているうちに、底を付けたらバックが出来ました。今ではベストやジャケットなんかも作っています。デニムは普通の生地と違って、使い込めば使い込むほど味がでるのがうれしいです。破れも見方によっては飾りになります。ジーンズに切り替えを



入れて金欄を挟んだものや、脇にファスナーをつけたものなど、いろいろなオリジナル商品を取り揃えております。丈直しはもちろん、ジーンズの修理もしていますので、お気軽にご来店下さい。

ジーンズショップ
ジェームス
TEL.077-522-2661
e-mail: james@biwacity.com

琵琶湖の東南、自然豊かな水口城跡の近くに、大きな酒蔵をもつ蔵元、美富久酒造がある。

「酒造りは、“米”という単一の原料からいろんな味をひきだすところが一番面白くもあり、この限られた原料からどうやって違いをだすかという難しい仕事でもあるのです。」と、酒造りの醍醐味を穏やかな口調で語る3代目の社長：藤居さんは、数ある滋賀県の蔵元のなかでは、経営革新をはかり独自の販売の仕方を模索する若手経営者だ。

「美富久酒造」の「酒造」は、「造酒」と書かないでしょう、つまり酒が何かを



S M I L E



「もの」として酒を造るのではなく
酒が持っている文化を
作りだしていく

藤居 宗治さん

美富久酒造株式会社

●〒528-0025 甲賀郡水口町西林03-2
●TEL.0748-62-1113 FAX.0748-62-2235
●URL: <http://www.mifuku.co.jp/>
●e-mail: mifuku@oak.ocn.ne.jp

作り出すということなのです。私は「もの」として酒を造るのではなく、酒が何かを造っていくために自分たちは何をするのかを考えています。酒が持っている文化を作りだしていくことなのだと思います。

口をひらくと「酒造り」への熱い思いばかりがでてくる藤居さん、ご自身が生まれ育った地元へのこだわりも、おのずと酒造りにつながっており、より地元とつながりの深い酒造りがしたいという。

これまで蔵元での酒づくりは蔵人に負うところが多かったのを、地元の人(社員)で担い、そして地元の原料(近江米)を使い、製造過程で排出した糠なども地元でリサイクルし、そして地元の人たちにもっと地酒を知ってもらい、飲んでいただきたいのです。酒造りを通じて、地元の経済を循環させ、より地元を活性化させることに繋げたい、繋がりたいと思っています。

静かにきっぱりと語るのが印象的だ。

セミナー & イベント情報

起業・独立のための 「創業支援講演会・相談会」

「ジョブステーション草津 創業支援室」のオープン周年を記念し、ベビーシッターの派遣の他に、保育施設の運営、高齢者在宅介護サービス等の事業を展開する(株)ポピンズコーポレーションの中村紀子さんによる起業・独立に関心のある方を対象とした創業支援の講演会です。なお、当日は、専門家による創業支援相談会〔経営相談、融資相談、助成金関係相談〕を開催いたします。〔予約制〕



- 日時／平成16年1月21日(水)
開場：13:30
講演：14:00～15:30
- 場所／琵琶湖ホテル
瑠璃の間(大津市)
- テーマ／
「女性起業家の挑戦
～泣き笑いとプロ意識～」
- 講師／株式会社ポピンズコーポレーション
代表取締役：中村紀子氏
- 定員／200名
(先着申し込み順)
- 参加費／無料

- 問合せ・申込先／ジョブステーション草津 創業支援室
担当：高坂(こうさか)・穴尾(あなお)
〒525-0032 草津市大路1丁目1-1 エルティ草津3階
TEL：077-567-0122 FAX：077-567-9988
URL：http://www.shiga-koyou-kusatsu.jp/

さざなみ起業チャレンジセミナー 入門編

起業・独立に関心のある方が、起業の心構え、起業家の体験談、起業プランの立て方、助成金に関する知識等の基本的な知識を身につける場として、本年第5回目の「さざなみ起業チャレンジセミナー ～入門編～」を開催します。

- 日時／平成16年2月5日・12日・19日・26日・3月4日・11日・18日〔各木曜日〕、13時～16時〔計7回講座〕
- 場所／エルティ草津・3階会議室(JR草津駅東口下車 徒歩2分)
- 講師／
株式会社グリーンウェブ：永福義光代表取締役
中小企業診断士：鐘井輝氏 他
- 対象者／起業、独立に関心のある方
- 定員／20名(先着申し込み順)
- 参加費／無料
- 問合せ・申込先／ジョブステーション草津 創業支援室
担当：高坂(こうさか)・穴尾(あなお)
〒525-0032 草津市大路1丁目1-1 エルティ草津3階
TEL：077-567-0122 FAX：077-567-9988
URL：http://www.shiga-koyou-kusatsu.jp/

中央会新春トップセミナー

週刊誌「サンデー毎日」に企業トップとの連載対談を掲載するなど、テレビ、雑誌、執筆とマスコミで幅広く活躍中の福島敦子さんによる講演会。

- 日時／平成16年1月22日(木)
開場：13:00 講演：14:00～15:45
- 場所／琵琶湖ホテル・瑠璃の間〔大津市〕
- テーマ／「組織革命 ～企業の未来を切り拓く～」
- 講師／キャスター：福島敦子氏
- 定員／250名(先着申し込み順)
- 参加費／無料
- 問合せ・申込先／滋賀県中小企業団体中央会
指導課 担当：中嶋
〒520-0044 大津市京町4丁目1-1
滋賀県庁商工労働会館5階
TEL：077-523-1167 FAX：077-525-5537
URL：http://www.chuokai-shiga.or.jp/



- 福島敦子プロフィール
津田塾大学文芸学部英文科卒業。中部日本放送を経て、1980年に独立。NHK「ニュース・トゥデイ」「サンデースポーツ」などでキャスターを務める。現在はキャスターのほか、雑誌、執筆とマスコミで幅広く活躍している。

技術研修第221期 環境マネジメントシステム構築講座

滋賀県工業技術総合センター等が中小企業の支援のために開発した解説書「ISO14001すぐ使える中小企業の環境ISO実例」を使い、環境マネジメントシステム構築の実務ノウハウを講義と演習を通じて学び、環境マネジメントの内部監査員と社内指導者を育成する講座です。

- 日時／平成16年2月3日・5日・10日・12日・17日・19日・24日・9時45分～16時45分〔計7回講座〕
- 場所／工業技術振興会館研修室
滋賀県工業技術総合センター別館〔栗東市〕
- 講師／轟恒彦氏
- 対象者／実際に環境マネジメントシステムを構築する担当者およびコンサルタント等
- 定員／20名(先着申し込み順)
- 受講料／45,000円〔消費税込み・テキスト代別送〕
- 問合せ・申込先／(財)滋賀県産業支援プラザ
技術支援課 担当：宮本
〒520-3004 栗東市上砥山232・工業技術振興会館内
TEL：077-558-1530 FAX：077-558-3048

新着●ビデオ&本●紹介

プラザ・インフォメーションコーナーでは、経営・販売促進・ISOなどの各種の図書およびビデオソフトを多数取り揃えています。最近購入しました図書およびビデオソフトの一部をご紹介しますので、是非ともご利用下さい。

VIDEO



PHPビデオセミナー
星野仙一：野球評論家
ほめて、叱って、
プロに育てる
若手を伸ばす
俺のやり方・考え方

2003年、阪神タイガースをリーグ優勝に導いた星野前監督が、中日ドラゴンズ時代に人材育成術について語ったインタビュー作品。若手の力を伸ばすにはどのようにすればいいのか、その秘訣をご覧ください。



実践！ビジネス・コンプライアンス
管理者・中堅社員のための遵法の常識

日経VIDEO

④ケーススタディー／公正な取引の実現
⑤ケーススタディー／就業・雇用の問題 各巻20分
日経「ビジネス・コンプライアンス」シリーズの最新巻。日常のビジネス業務のなかで直面する、違法か遵法かの判断に迷う、数々の出来事をケースドラマ化して、ビジネスの常識を解説！今回は、公正な取引に欠かせない独占禁止法や消費者契約法、就業・雇用に關わる労働法、男女雇用機会均等法などをテーマに紹介します。①～③巻に引き続いて、どうぞご参照ください。

BOOK

大江戸の経営塾
5人の豪商が「講義」する
不況を乗り切る「経営手法」

衣川龍泉／著

大江戸をおそった元禄バブル崩壊と、それに続く長引く不況を、豪商たちはどのように乗り切ったのか？住友友芳・三井高利・鴻池善右衛門など、当時活躍した5人の豪商たちが講師となって、経営用語や基本戦略をわかりやすく解説。歴史から学ぶ「経営の基本」、現代の経営理論も交えて楽しみながら学べます！



図解でよくわかる
携帯電話ビジネスのしくみ

藤沢太郎／著

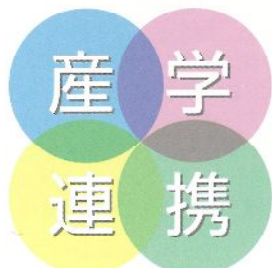
今やモバイルマルチメディアと化した携帯電話は、重要なビジネスコンテンツ。21世紀のビジネスを担う、携帯電話ビジネスの現状や実情をわかりやすく紹介するとともに、携帯電話の新規ビジネスの企画や現在の仕事への導入も取り上げています。



ユニバーサルデザイン
超高齢社会に向けたモノづくり

ユニバーサル
デザイン研究会／編

高齢者や障害者の方々をはじめ、全ての人にとって使いやすいデザインを目指すユニバーサルデザイン。これから訪れる超高齢社会では、生活用品・住宅などユニバーサルデザインを取り入れたモノづくりが必要です。ユニバーサルデザインを幅広く研究したい人におすすめの一冊。



第4回

今、新技術開発や
ヒューマンネットワークの形成など
産学連携が注目されています。
このコーナーでは大学などの
産学連携に関する情報を
掲載します。



まついゆういち
松居祐一さん

滋賀県立大学・地域産学連携センター教授

産学連携をベースとした研究開発を指向して、本年8月から活動しています。着任後約4ヶ月の間に、数百人の方々の面識を得て、企業訪問、技術相談などを行っています。専門は、電子（電気）材料・光電子素子・ナノテクノロジー・視覚認識回路システムです。この関連の技術相談については、私自身が研究をさせて頂く場合もあり、また、

他の分野については、本学の約200名の先生方とのマッチングをとらせて頂きます。7月までは、企業人として、異なるタイプの2つの企業にいましたので、お気軽にご相談にいらして下さい。アールグレイでも飲みながら、自由な技術討論をしましょう。“近江”から“近未”来の技術革新ができればと願っています。

【問】 滋賀県立大学・地域産学連携センター
〒522-8533 彦根市八坂町2500 TEL.0749-28-8610【事務局】 FAX.0749-28-8620【事務局】
E-mail: rlab@mech.usp.ac.jp URL: http://www.mech.usp.ac.jp/rlab/



- 橋本かしわ店
- 美濃屋紙店
- 青山製作所

橋本かしわ店

<http://www.kasiwaya.org/index.html>



当店は店舗販売とネット販売により、新鮮で美味しい産地直送の鶏肉を全国のみなさまにお届けしております。

当店のこだわりは「近江しゃも」と「赤地鶏」を、所有する鶏舎で育てていることです。そしてこのことが、お客様に新鮮で美味しい鶏肉をご提供する最良の方法だと考えています。

また、ホームページを立ち上げることで滋賀の地鶏をよりたくさんの方に知っていただいたり、滋賀県畜産課の協力も得て近江しゃもの役員として更に全国に広めようと活動しています。

ネット販売サイトでは「店主のこだわり」や「お客様の声」のページを作っておりますので、近江の地鶏がどのようなものか、また、お客様の生の声を読んでいただくことで当店の地鶏が高品質で安全な事をご理解頂けるのではないでしょう。

美濃屋紙店

<http://www.mino-ya.com/>



城下町彦根にて創業82年の文具・事務用品店です。和紙・和雑貨を豊富に品揃えし、和紙の持つ風合いと温かさによって、お客様に癒しの空間をご提供しております。さらに愛される店舗となるよう、この度、店舗をリニューアルしました。

また、実店舗のみならずネット販売サイト「e文具」を立ち上げております。ネット通販の良い点は、店頭では売れにくい大型シュレッダーやOHPなどがよく売れることです。24時間365日稼働し、全国から注文があることもネット販売ならではです。更に、検索エンジンに当店の広告を出すという『検索エンジン広告』を利用することによって、お客様に当店HPを見つけてもらいやすくなり、全国から飛躍的にアクセス数が増え、注文は順調に伸びています。

青山製作所

<http://www.biwa.ne.jp/aoyamass/index.htm>



当社は板金加工に必要な設備を取り揃え、多品種少量生産から少品種多量生産までお客様の幅広いニーズにスピーディーに対応いたします。ホームページは、シンプルに作ることで利用者にわかりやすいよう心がけました。

ネット販売をしております自社商品「アオヤマ・厚あつ鉄板」は、厚板鉄板を使用した本格派バーベキュー用鉄板で、自社で製作し販売出来ることもあり価格的にもおすすめです。また、鉄板に限らずその他の商品も、デザイン・サイズを自由に決めていただける特注品としてネット販売で賜っています。お気軽に注文して頂けるのもネット販売のよいところです。

詳しい情報は、滋賀県企業情報検索市場skki(すっき)をご覧ください。skkiには、この他にも多数の企業の情報が掲載されています。また、プラザではホームページ立上げ支援などインターネットビジネスを応援する巡回企業訪問や、Eビジネスセミナーの開催を随時行っておりますので、お気軽にお申し込みください。



● 編集後記 ●

お陰をもちまして、滋賀ビジネスパートナー2003は、昨年を上回る1,300人を超える多くの参加者があり無事成功裡に開催できました。新事業や経営革新といったキーワードの下、多くの企業や人々が新しい挑戦をする姿を目の当たりにしました。我々も皆さんのチャレンジ精神を見習って、中小企業の皆様に役立つ情報発信を続けていきたいと思っております。

企業のやる気を応援します！

財団法人滋賀県産業支援プラザ

〒520-0044 滋賀県大津市京町4-1-1(滋賀県庁商工労働会館内)
TEL.077-525-7573 FAX.077-525-1931
<http://www.shigaplaza.or.jp> info@otu.shigaplaza.or.jp

- 公共機関/JR大津駅から徒歩5分
- 車/名神インターから約3分
- 駐車場/県庁南駐車場【無料】をご利用ください。

